

NetRegio AD による無線 LAN 向けの Domain 連携認証

◇本事例のユーザー

- ・ 中堅規模の映像機器製造業様で一部上場企業
- ・ 約 1000 人規模の工場内従業員が使用する無線 LAN 端末の認証サーバとして導入
情報基盤の整備は、各事業拠点の情報システム担当者様が本社情報システム部門と連携しながら対応されています。
- ・ 無線 LAN 機器は、HP 社の ARUBA IAP を使用し、本ユーザー様を担当する SI 会社が無線 LAN システムとして導入。

◇導入の背景

無線 LAN の本格的な導入にあたり、セキュリティの確保と運用負荷やユーザーの利便性を考慮し以下の懸念を抱えていた。

- ・ 来客向けはインターネットアクセスだけなので簡易なもので済ますが、社内ユーザーは有線端末と同様な使い勝手を確保したいため、しっかりとした認証を行いたい。
- ・ 社内は Windows の Active Directory(以下 AD とする)によるドメイン運用を行っているので、無線 LAN 用に別の認証情報を使用すると利用者側も運用側も負担が大きくなる。
- ・ AD は全社システムとして扱っているので、無線 LAN の導入によりあまり大きな負荷を AD に加えるような方式を取りたくない

◇導入の狙い

現状のセキュリティレベルを維持しながら、運用負荷をユーザーとネットワーク運用部隊の双方で軽減することを目的にしながら、次のようなメリットを達成することを狙いとした。

- ✓ 認証は AD 上の User ID とパスワードを使用し、既存のパスワードの更新ポリシーに準拠したセキュリティ運用とする。
- ✓ EAP で必要な認証の暗号化処理などは認証サーバが吸収し、無線 LAN の導入による AD への負荷の増加は最小化する。
- ✓ AD 上の User 登録やパスワードのポリシーを優先し、機器障害による運用負荷やユーザー業務への影響を最小化するよう認証サーバを冗長化する構成とする。

◇導入の要件

- 最大で 2000 端末の無線 LAN 利用が可能なこと
- 機器障害時の機器交換を考慮した設定のバックアップなどの負荷業務が発生しないこと
- 機器の運用に特別な管理サーバなどを必要としない、最小構成であること
- 冗長構成でもラック 1U 分のスペースに収容できた

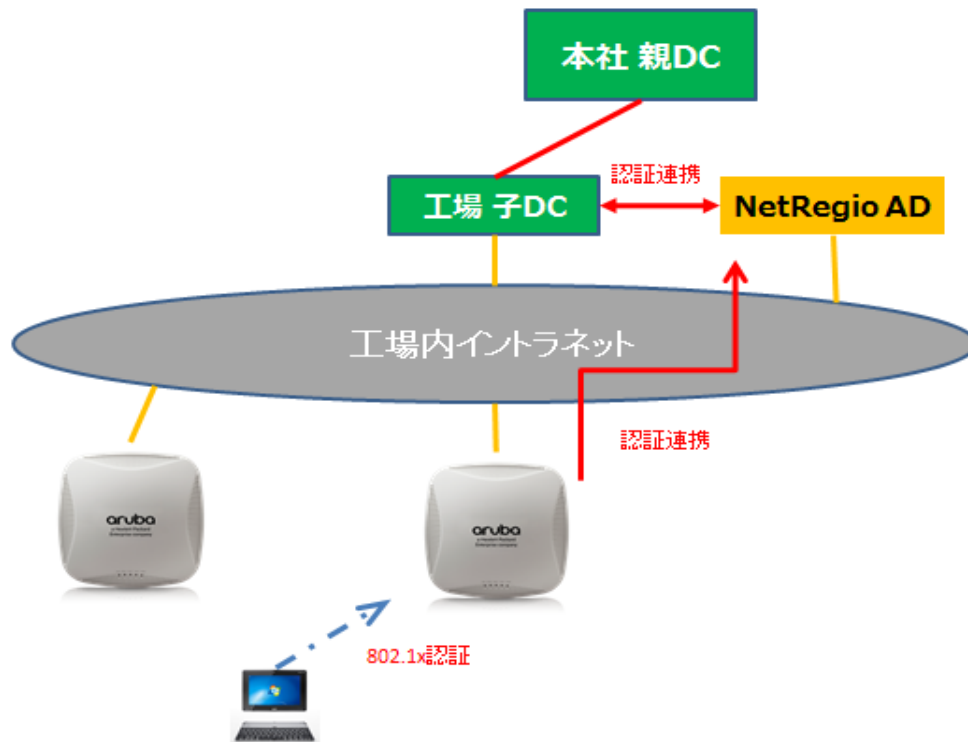
◇NetRegio AD の選定理由

要件を元に H 社、S 社の同様な製品と比較したところ以下の点で、パートナーである SI 社の提案する NetRegio AD が選定された。

- 管理サーバ不要で、冗長化が可能である。
- 既に導入していた Infinico 社の DHCP サーバと同じブラウザで全く同様な操作のユーザーインターフェースで容易に運用が可能
- 保守費用を含めてもコストが圧倒的に安価であった。

以上により、NetRegio AD の導入が決定された。

◇導入構成



◇導入後の効果

当該拠点の情報システム担当者様が運用を行った結果

- ✓ 無線 LAN の接続面でのサポート業務はあるものの、認証機構そのものの追加負荷はない
- ✓ 新規無線 LAN 端末の申請から接続までがほぼ即日できる運用を維持
- ✓ 接続の問題も DHCP サーバと同様の操作で Syslog 確認できることから、お客様で無線 LAN の運用を完結

◇導入後の課題

- ◇ 機器内に保存できるログの量が限られており、これらの情報を長期保管したり、内容を検索したりするためには Syslog サーバが別途必要になる。
 - ※ 対応策として、Infinico 社の Syslog サーバアプライアンスの Gazer シリーズをご利用ください。
- ◇ メーカーの保守期間が 5 年までしかなく、国産メーカーとしてはサポート期間が短い。
 - ※ 対応策として、初年度に一括申し込みの 6 年保守、7 年保守の保守パッケージを用意しております。